

科目名 地域研究A

教員名 岡村 徹

【授業の到達目標】

オセアニア島嶼国の社会、歴史、文化、言語を研究する。研究対象として、パプアニューギニアを取り上げ言語と社会の関係を中心に考える。

【授業のテーマ】

まずパプアニューギニアの言語、歴史、社会、文化に関する全般的な特徴を学習する。そのうえで、言語を社会との関係で捉え、パプアニューギニア社会の諸問題を考える。なお、毎回ピジン語の文法と会話の学習もする。

【授業概要】

毎回講義形式で行なうが、毎回ピジン語の練習をする。

【準備学習】

本学の図書館にあるニューギニア関係の基本図書に目を通しておくこと。

【授業計画】

1. はじめに パプアニューギニアってどんな国なの？
2. あいさつ / ホテル / スーパーマーケット
3. びんろう子 / アルコール / エイズ
4. ラスカル / 宗教 / トーテミズム
5. スポーツ / 乗り物 / マロロタイム
6. マスコミ / マラリア / コーヒー
7. 経済 / ピジン / ドイツ語
8. 料理 / 単一起源説 / シンシン
9. 合成語 / 辞書 / 植物園
10. 地震 / 英語教育 / ソマレ首相
11. アイグリス///日本文化資源///留学
12. ネット事情 / ワントク / 姉妹都市
13. 図書館 / ブーゲンビル紛争 / 反日感情
14. イディオム
15. おわりに

【評価方法】

平常点:40% レポート:60%

【テキスト】

岡村徹『はじめてのピジン語』(三修社)
(テキスト ISBN) ISBN4-384-05308-8

【参考文献】
適宜指示する。【オフィスアワー】
随時相談に応じる。

【学生へのメッセージ】